

伸びる子

やさしく (愛いっぱい)
かしこく (夢いっぱい)
たくましく (元氣いっぱい)

令和5年
6月16日
五島市立
奥浦小学校
文責 橋詰絵

第5号

学び多き 修学旅行に行ってきました。

台風二号の影響、子どもたちの体調の問題と、実施が危ぶまれた今年度の修学旅行でしたが、子どもたちの願いが届き、全員参加で無事に実施することができました。途中雨に見舞われ、ずぶ濡れになりながらも、ハウステンボス、平和学習と予定通りの学びを全て行うことができました。

ハウステンボスでは、到着後しばらくは雨に降られることもなく、レジャーを楽しんだり、調べていた食事に舌鼓を打ったりすることができました。と書くと、ハウステンボスは遊びだけだったのか、と言われそうですが、そうではありません。それぞれの子どもたちが自分はこの場所であらういった力をも身につけたい、伸ばしたいと意識して行動していました。特に六年生の班長は、メンバーの意見をまとめながら、みんなの希望にできるだけ添うことができるよう考えリーダーシップを伸ばしていました。翌日の平和学習はスタートから雨でしたが、それでも献鶴を行って平和への思いを強くし、資料館では、悲惨な状況を目の当たりにしてさらに平和の尊さ、戦争の悲惨さを感じていました。

わずか二日間の旅行でしたが、平和に対する思いを強くすることができました。また子どもたちの成長を強く実感することができた修学旅行でした。



夏休み明け授業開始日について

PTA 総会の資料にもあげておりましたが、今年度から五島市では夏休みを短縮し、9月1日以前の日から授業を開始します。以下の通りです。

8月25日(金) 午前中授業

8月28日(月)~通常の授業

28日以降は給食も始まります。

夏休みの予定等あると思いますので、再度お知らせいたします。25日以降の日程の詳細については後日お知らせいたします。



水曜日の授業参観、ありがとうございました。
月曜日から始まった教育週間ですが、火曜日に次のような講話をしました(原稿原文)。

Q1. 命は大切ですか。

○ とても大切なものです。命をなくしてしまつたら、お友達や先生達に会うこともできません。お父さん、お母さん、お兄ちゃんやお姉ちゃん、弟、妹、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚のおじちゃんおばちゃん、近所のおじちゃんやおばちゃんとおつたり楽しい時間を過ごしたりすることもできなくなります。

楽しいこともできません。けんかをして、仲直りすることもできません。いやなことにチャレンジして、できるようになって喜んだり、うまくできなくて悲しんだりしながら、命を強くすることだつてできません。

Q2. あなたの命は、だれにとって大切ですか。

○ 自分自身にとって、とても大切なものです。そして、さつき言つたたくさんの人たちにとって、つまり、あなたの周りにいる全ての人の人にとって、あなたの命は大切なものです。

Q3. あなたにとって、大切な命を持っている人はだれですか。

○ まず、あなた自身の命です。そして、あなたの周りにいるたくさんさんの人の命です。

Q4. もしも、あなたのまわりの人が命を失うことがあつたら、どう思いますか。

○ それはとても悲しいことです。

昨日から、「奥浦っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。

奥浦中学校でも先週の金曜日から始まっています。でも、日本全国で、「心を見つめる教育週間」という取組をしているのは、長崎県だけです。なぜだと思いませんか。

私たちが住んでいる長崎県では、悲しいことに「子どもが子ども

の命を奪う」という事件が何回か起こりました。一回だけではありません。何回も、です。

事件を起こした人たちは、さっきの4つの質問にどう答えると思いますか。先生はきっとみんなと同じように答えると思います。でも、事件を起こしてしまつているのです。

なぜなんだろう、いつも先生は考えます。そして、いつもこの答にたどり着きます。

「自分の弱い心に負けたんだ」

どういうことかわかりにくいですね。簡単に言うと、

一、自分の思い通りに行かないことがあつて、いろんなことが嫌になつた

二、いやなこと、したくないことから逃げて逃げて逃げまくつて、そしてどうしよう逃げ切れなくなつてどうしようもなくなつてしまつた

三、自分だけが、嫌なことを我慢していると思つている

四、自分の気持ちばかり言つて、相手の気持ちを考えることができなかった

また質問をします。

・今まであなたが生きてきた中で、全てのことが自分の思い通りになつた人がいたら手を上げてください

・自分だけがいろんなことを我慢していると思う人手を上げてください

・いやなこと、したくないことから逃げていたら、あなたはどんな人間になりますか。

校長先生は、心や命は鍛えることができると思います。目指す子ども像、「自分に克つ子」がそれです。

何回も言いますが、この「克つ」という字は、弱い自分の心に勝つという意味です。そして、心や命を鍛える一番いい場所は、「学校」で

す。学校にはいろんな人がいます。時々喧嘩をすることもありますが、そういったときこそ相手の気持ちを考えるチャンスです。

得意な勉強、苦手な勉強があるでしょうが、苦手なことに挑戦することで自信が付き、弱い自分に克つことができます。学校は学校のルールの中でたくさんの人たちが生活しています。だから、自分の思うとおりに行かないこともあります。むしろそつちが多いと思います。だから、我慢しなければなりません。我慢する心、命を鍛える場所でもあります。

自分に克つことができる人は、自分の命もまわりの人の命も大切にできる人です。まわりの人の気持ちを考えることができる人です。そういった人の命は強く、そして輝いています。

毎日楽しく登校して、いろんな人と楽しく過ごしたり、時にはけんかをしたり、得意なことを伸ばしたり、苦手なことに挑戦してできるよふになつたり、そうやって、自分の命は鍛えられます。困つたときには、友達がいいます。先生達がいいます。友達は困っているあなたを助けてくれます。先生達はみなさんの応援団です。うまくできないことがあつても見捨てません。見守ったり、アドバイスをしたりします。悪いことをすれば、時には指導します。みんなが正しく命を鍛えることができるよふ一生懸命応援します。

どうか、「自分の弱い心に負けない」人になつてください。「自分に克つ子」になつてください。それが、自分の命、まわりの人の命を守ることにつながります。そして、今以上に、みんな仲良しの奥浦小学校を作ってください。

以上

ご家庭でも命について、命を輝かせることについて、お子さんと話をしてみてください。